

HSK NPO 法人「文福」ニュース

「障」ちゃん

NO.253

冒頭の一言

皆さん、この新型コロナウイルス渦の中お元気でしょうか？

「やっとこの新型コロナウイルス感染症が治まってきたかなあ。」と思いきや、
またまたコロナが猛威をふるってきましたね。怖い怖い！(*´艸`)

いつになったらコロナにおびえる事なく、皆が集まってワイワイガヤガヤとで
きる日が来るのでしょうか！皆で集まれるのが待ちどおしいですね～。

さて、まだまだお家時間が長い中、障ちゃんニュースをごゆっくりお楽しみくだ
さい。

kaokao

—もくじ—

- 冒頭の一言 … 1 コロナのせいで 八木勝自… 2-3
- オンライン飲み会のお知らせ … 4-5 総会報告 … 6
- A L S の女性患者 … 7-8 ヒヤリハット研修会報告 … 9-10
- 運営会議報告 … 11 まっち原稿募集 … 12 ありがとうコーナー … 13

工
事
大
事
回
り
一
三
、
五
、
八
、
一
〇
、
一
三
、
一
五
、
一
八
、
二
十
、
二
三
、
二
五
、
二
八
日
発
行

一
九
九
四
年
八
月
四
日
第
三
種
郵
便
物
承
認

「コロナウィルスのせいで」


八木勝自

この障ちゃんニュースの発行を 3 ヶ月ほどお休みしました。何故かという
と、障ちゃんニュースの編集や発送は特に発送は印刷した物をページ通りに
折り畳んだり封筒に出来上がった障ちゃんニュースを入れたりなどして、そ
れまでは大勢の人たちが集まって作業をしていたのでコロナウィルスの感
染が出る可能性が作業の為集まると危ないと判断したからです。それでもこ
こ 5 ヶ月ほどのコロナウィルスのせいで社会が混乱していたりしています。

学校が 1～2 ヶ月近く小中高大学が休校になったり仕事場にも人が集まら
ず家でテレワークをしたり娯楽で言えば、野球や相撲各体育祭、イベントの
中止は勿論のこと、各飲食店やパチンコホールも一時は中止したり一部はま
だそれを継続したり医療機関も大混乱を起こしています。そんな中、私たち
文福も障害者同士が集まらなかったり、重度障害者の介助、介護も濃厚接触
で危ないと言われたり、また聴覚障害者の人にとっては、人々がマスクをし
ている為、口で文字や言葉がわかる口語を出来ず、大変困ったり、視覚障
碍者では全盲の人たちの手を引いて道を歩いて道などを案内するサポートが
出来ない状態などが続き、社会は大混乱を起こしています。

そんな中、週刊の福祉新聞で下記のような記事が載っていました。内容を
要約すると、3 月に新型コロナウイルスで千葉県北総育成園で食事の自園
調理が出来なくなった上、弁当業者に頼んだら断られたり、ゴミ回収業者も
来なくなったりなどなどして大変困ったそうですが、同県知的障害者福祉協
会の一部の施設がチームワークを組んでなんと野菜多めの弁当を 1 日昼と
夜の 2 回 100 食分を作り 1 ヶ月半以上届けたそうです。この記事を書いた
記者が書いている通り、私もそれはすごいことだと思います。社会がそれだ
け混乱する中、人々は自分が感染しないようにとけんけんがくがくになっ
ています。人間というのは他の動物と違って「自利」だけではなく「他利」を
行い、1 つ 1 つが助け合って補助し合って人間社会を形成してきた動物です。

2020 年 8 月 10 日 福祉新聞



「ライフラインが動いてい
るのに食事が食べられない状
況になるとは思っていなかっ
た。3月に新型コロナウイルス
の集団感染が発生した千葉
県の障害者施設「北総育成園」
の支援に携わった多くの関係
者から聞いた言葉だ。職員が感染して自
園調理ができなくなる上に、弁当業者に
納入を断られる事態が生じることは考え
も及ばなかったという▼自園調理ができ
なくなるまでの1カ月半以上、育成
園の食事を支えた千葉県北総市福祉
協会の理事長は「県内の障害者福祉
協会の研修会やスポーツ大会など
を通して職員同士類の見える関係が築か
れていた。みんな人ごとだと思えなかつ
た。明日は我が身と思い支えた」と話
す▼弁当作りや配達には、育成園に近い成
田市近郊の5施設がチームを組んで対応
した。就労支援事業で食品加工をしてい
る施設が、利用者の健康を考えた野菜多
めの弁当を作り、1日1回を夜、100
食分を届け続けたという。本当にすごい
ことだと語り▼食事だけでなく、育成園
では「感染を恐れ、ユニクロ販賣者が来な
い」職員全員が検温検診者となり、銀行
や郵便局に行けない「なごみまつり」も問
題が正した。感染予防対策を講じていて
も感染が避けられない状況がある中、集
団感染が発生した場合にどうするのか、
近隣施設・法人間の連携について緊急に
検討することが大切だ。(井上正倫)

8月15日の日経新聞の文化欄で瀬戸内寂聴さんがコロナウイルスのせいで皆マスクをかけたり社会が混乱して人間を「新しい動物ができたみたい」と言っていました。私もその通りだと思います。残念ながら今の新型コロナウイルスに効く予防するワクチンが出来ても、ウィルスが変化したり人の免疫細胞で、間違っているかもしれませんが、G細胞のせいで半年ほどかワクチンが効かずまたその変化したウィルスに効くワクチンに膨大な金を使って開発したとしても、また半年ほどしか効かないものになってしまうだろうとウィルス研究家の人が言っていました。

これから私たちがどうした社会で何をしていくかを真剣に考えなくてはいけない時期だと思っています。

障ちゃんニュースの紙面の関係でこれからのことを書きたいことありますがそれは次回に書くような書かないような気がしています。

こんな時代だから、こんな時代にしかやらないかもしれない事をやろうプロジェクト

オンライン飲み会 with 夢宙人

第1回、第2回と続き、第3弾も予定しています。毎月第三金曜日19時からのオンライン飲み会はまだまだ続きます！！

合い言葉は

「こんなときだからこそ、こんなときにしかやらないことを。」
です。

新型コロナウイルスが蔓延している今日この頃、複数人が集まって騒ぐのは危険な世の中になってきました。直接顔を合わせることが出来なくとも、オンラインでなら大丈夫。オンラインにはオンラインの良さがあります。(経験談)今は県外にいるって人でも簡単に参加できるという気軽さがあるよ！！

自粛自粛でつまらないと思っている方、ちょっとは騒ぎたいと思っている方、皆の顔を見ながら飲みたい方などなどおられましたら、是非ご参加下さい。

飲み会といえど、お酒を飲む飲まないは自由です。また途中入室や中途退室も自由！！一応、毎回テーマを決めてやっております。

第三回のテーマについてはまだ未定ですが、皆さまにニュースが届く頃には決まっていることでしょう。(イベント当日に皆で次回のテーマを決めています。)

イベントはZoomのアプリを使用しています。PC、タブレット、スマホなどでアプリをダウンロードしていただき、アドレスにアクセスしてもらえれば参加できます。

また夢宙人メンバーとLINEで繋がっている方は直接アドレスを送ら

させていただきます。夢宙人ブログや夢宙人メンバーのブログ「ぼんこのめ」にも決まり次第アドレスをアップしていきます。

皆さまの参加をお待ちしています！！

日程は下記に。

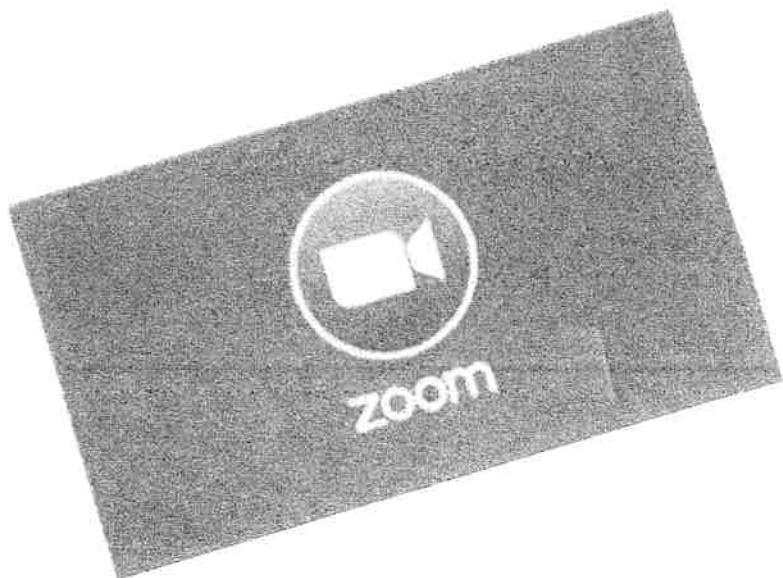
日時 2020年9月18日(金) 19時~終わるまで。

テーマ 未定

アドレス <https://zoom.us/j/94763898581>

ミーティング ID: 947 6389 8581

※テーマを知りたい方、アプリの使い方が分からない方は、夢宙人メンバーにお問い合わせください。



第18回 NPO 法人文福総会報告

去る 6 月 20 日、NPO 法人文福の総会が文福事務所にて行われました。新型コロナウイルスの影響により密になるのは避け、出席は理事長、副理事（介助を含む）で議長、議事録署名人 2 名、書記 1 名の 6 名での縮小開催となりました。

今回は委任状は 24 名の方から手渡し、または郵送でいただき、運営会員全 32 名中 17 人で過半数というところ、すでに 24 名の方が委任してくださっていたので 28 名の方が賛成、承認成立いたしました。

今総会にあたり、特殊な形ではありましたが、会員の皆様が、委任状の返事など、迅速な対応でご協力くださいましたおかげで、つつがなく終わりました。ありがとうございました。

来年度においてはどうなるか感染症の流行次第で総会がどのような形で開催されるかわかりませんが、この状況が早く収束・終息しますことを切に願うばかりです。

文責：松岡

ALS（筋萎縮性側索硬化症）の女性患者囑託殺人事件に

ついて思うこと

河上干鶴子

去る7月23日、昨年11月にALS（筋萎縮性側索硬化症）の女性患者に薬物を投与して殺害したとして、京都府警は囑託殺人の疑いで宮城県の呼吸器内科医、大久保愉一容疑者（42）と東京都の内科医、山本直樹容疑者（43）を逮捕した。というニュースが流れました。

今年の2月に、「福祉と人権を考える学習会」で、NHKの番組で「スイスに行き「安楽死」を選んだ彼女」というテーマで行ったばかりでした。この時もいろんな意見が出ました。それで、今回の事件について、担当した者として考えていることを書いてみたいと思います。

私は、どうしても二つの事を比べてしまいました。スイスに行き「安楽死」を選んだ彼女と、今回の彼女との共通点があることに気が付きました。それは、ある程度の裕福な家庭に育ち、高学歴で、バリバリと働いて来た時に治らない・進行性の病気を発症している事と、既婚者ではないという事です。そして、大きな違いもいくつかあります。それは、前者は、姉妹に「安楽死」したいと告白していた事と、身体の進行状態の違いと、人に迷惑をかけたくない＝世話になりたくないと強く訴えており。後者は、福祉サービスや医療的ケアを受けながら、一人暮らしをしていた。彼女は身近な人や支援者には、「死にたい」という事は、一切告げていなかったというのです。しかし、京都の彼女は主治医に、終末期医療のガイドラインを調べた上で、栄養補給の中止を申し出たが、主治医から断られています。その後、逮捕された大久保容疑者と連絡を取り合っ、実行したという事です。

私は、これは「安楽死」でも「尊厳死」でもなく、医師による依頼殺人でしかない？という気持ちが大いなのです。

「安楽死」と「尊厳死」の違いが良くわからないということもありますが、これは、本当に難しい問題だと思っています。現在の日本では、「安楽死」は認められていません。91年の東海大病院で医師が末期がん患者に薬物を投与して死なせた「東海大安楽死事件」で95年に横浜地裁判決は、医師によ

る安楽死が許容される 4 つの要件を提示しています。①耐え難い苦痛がある。②死期が迫っている。③苦痛緩和の方法を尽くし、他に手段がない。④本人の明確な意思表示がある。としています。

ただ、その後もこの 4 要件を満たしたとして公的に安楽死が認められたケースはないとの事で、今回は一つだけ、彼女がツイッターで「安楽死」を希望していたという事で意思表示は満たしているが、それ以外は当てはまらないので、公的に言う医師による「安楽死」ではないことがはっきりしているのです。スイスに行き、「安楽死」した彼女は、自殺ほう助なのです。彼女自身で毒薬（致死剤）の入った点滴のスイッチを押しています。しかし、日本では、「安楽死」と伝えられています。

京都の彼女は、主治医でもなく、ツイッターだけのやり取りだけで、金銭で受けてもらい、実行当日初めて会った二人と彼女との間に信頼関係があったのだろうか？

私だったら、いくら「死にたい」と思っているとしても、そんな人に死を委ねる気にはなれません。最期の時は本当に心から信頼できる人にそばにいて欲しいと思っています。

医師の使命は、人の命を助ける事なのに、この二人は本業以外の金儲けで、人の命を左右するという事は、決して許されることではありません。

そして、この事件をきっかけに、私はまた、同じような「死の手助け」をビジネス化していく者が現れるのではないかと危機感を持っています。そして、このことで「安楽死」の法制化が進むことが「命の選別」に歯止めが付かなくなっていく、このような事が実際に起こっているのです。

新型コロナウイルスが大流行している中で「安楽死」が合法化されているヨーロッパ諸国では、トリアージ〈優先順位・命の選別〉で、重度障害者や高齢者が十分な治療を受けられないという新聞記事がありました。優生思想がはびこるのは、言うまでもありません。

ある本によると、「安楽死」も「尊厳死」もはっきりとした定義がないと書いてあり、一般的には「尊厳死」は、延命治療の中止を指しているとの事です。

私達、一人一人が冷静になって、これからも「死」について考えていかないといけない時代になっている事を自覚していきたいものです。

介助・介護・居宅部ヒヤリハット研修会報告

遅ればせながら報告です。

2月20日（木）の午後、文福事務所にてOpen派遣会議があり、「ヒヤリハット研修会」を行いました。約10名の出席がありました。

この「Open派遣会議」は毎月第3木曜日の午後に行っています。

普段は毎週木曜日に派遣の担当のみで「派遣会議」を行っているのですが、このOpen派遣会議では、スタッフ・アルバイトの方が自由に参加しやすいようにテーマを決めて行っています。

「ヒヤリハット」とは、現場にいて事故に至る可能性のあった出来事、ヒヤッとした、ハッとした出来事、「発見」のことです。一つの重大な事故の背景には、およそ29の軽微な事故があり、さらにその背景には300のヒヤリハットが存在するといわれています。

失敗から学ぶ、とはよく言われますが、小さな失敗体験は個人の問題として埋もれ忘れられてしまいがちです。氷山の一角として現れた「発見」としてみんなで共有し、前向きに検討していけば、事故を防ぐ意識・環境を作っていけるのではないかと考えて始めました。

報告書は文福の重訪（重度訪問介護）のヘルパーと、重訪を利用している障害者スタッフに配り、今回は初めてなので、これまでに利用者がヒヤリとしたこと、ヘルパーがヒヤリとしたことをそれぞれに書いてもらいました。ヘルパー14件、利用者3件の提出がありました。

原因は、環境、設備・機器、介助方法、自分自身に分けて当てはまるものを考えてもらいました。引っ越し等住環境が変わった時や、車いすが新しくなったときは、要注意！。本人の身体の状態やコミュニケーションがきちんととれてるかを見直す機会だとわかりました。慣れてきての油断、慎重さや丁寧さに欠けた、思い込みによる確認不足が問題のことが多いようです。ヘルパーは直行直帰で、勤務時間もまちまちで、介助中のヒヤリハットを話したり聞いたりする場がないので、今後も継続して記入してもらい、月1回のOpen派遣会議で取り上げて研修を続けていこうと思います。

また、当日参加のヘルパーの方から「電動車いすの利用者さんと外出するとき、場合によって、自分が歩道側に立つべきなのか、その時の判断はどうしているのか」という質問があり、障害者スタッフから「本来はヘルパーが車側だが、後ろから歩いていけば良く見えるから。」という回答がありました。そうゆう日頃感じている疑問なども気軽に話していける場にしたいです。

文責：久保・森田



運営会議報告

2020年7月21日現在

○障害者部会

- ・ 事務所当番について確認した。
- ・ 障ちゃんニュースを 8 月 1 日に発行再開。
- ・ K さんのセルフプランを河上さんや福田さんと相談して書く。

○障ちゃんニュース発行部

- ・ 印刷は 26 日曜日予定。・ 発送作業は事務局が何日か掛けて行う。
- ・ 会費の振込用紙も一緒に送る。

○まっち発行部

- ・ 19 号ができあがった。次回の原稿を募集中。・ テーマは「コロナの後にしたいこと」。次回の締め切りは 9 月末。

○レクリエーション部会

- ・ イベントは何もやれてないが、夢宙人でオンライン飲み会をやった。
- ・ 毎月第 3 金曜日にテーマを決めてやる。

○総会関係

- ・ 6 月 20 日、今年はコロナウイルス感染症の影響で縮小して文福事務所にて行った。

○介助・介護人派遣事業部

- ・ 秋のザ・カイジョは 10 月 17 日・18 日・24 日、募集人数は 6 名。状況を見て開催予定。・ 今回ポスターは作らない。
- ・ 同行援護にて旅行等で県外へ行ったヘルパーの方には 10 日間ほど休んでもらう。

○文福食堂

- ・ 会食で感染が広まる可能性があるので年内はお休みにする。

○事務連絡

- ・ 今年の事務所のお盆休みは 8 月 13 日から 16 日。

○その他

- ・ コロナウイルス感染症の長期化や暑さで、最近ヘルパーがマスクをしてない方を見かける。今一度手洗いマスク消毒を心がけてください。

● 次回の運営会議は 8 月 18 日サンフォルテ 307 号室

報告者：粟島克幸

「まっち」の原稿大募集

個人史・社会問題・そして人と人を結ぶことを目指し発行している「まっち」です。

次号のテーマは『新型コロナウイルス感染症 後』です。

皆さんは新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっている最中、どんな生活をして何を考え何を思っておられるのでしょうか？

新型コロナウイルス感染症が終息した後には何をしたいですか？

そして新型コロナウイルス感染症で私達の生活はどう変わったのでしょうか？

そんなコロナに関しての事を何でも良いので書いてほしいと思っています。次号の締め切り日は 2020 年 9 月末日です。

もちろんテーマ以外の原稿も大大歓迎です。郵送される方は、

〒930-0887 富山県富山市五福 3 7 3 4 - 3 番地 NPO 法人文福

「まっち」編集係り まで

メールでお送り頂ける方は macchitti@gmail.com まで

よろしくお願ひします。お待ちしてござります。 文責 中村薫



ありがとうコーナー

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後もよろしくお願いします。

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

8月になり、遅い梅雨が明けてから、猛暑日が続きましたね。7月にGO TOトラベルがあり、その影響もあってか「新型コロナウイルス感染症」は、東京、大阪、愛知、沖縄などで感染者が多く出ています。富山もまた出ています。今年のお盆の帰省や旅行は、自粛という事でしたが、皆さんはどうお過ごしでしたか？まだまだ暑い日が続きそうです。熱中症には、気をつけましょう。〈アパッチ〉



2020年度 新規会員・継続会員

久保ゆかりさま 吉田彰さま 森田知恵さま 武田博さま 村上隆さま
青木麻衣子さま 福田文恵さま 日下正秀さま 吉田健太さま 粟島
克幸さま 荒戸紗貴さま 瀬戸紀美子さま 先祖貴代さま 八木勝自さま
大野啓子さま 吉川行唯さま 山本正子さま 中林文夫さま 田辺曜子さま
ありがとうの家さま 山本夕起子さま 今度純子さま 谷口良夫さま
江尻一郎さま 永井広克さま 澤則雄さま

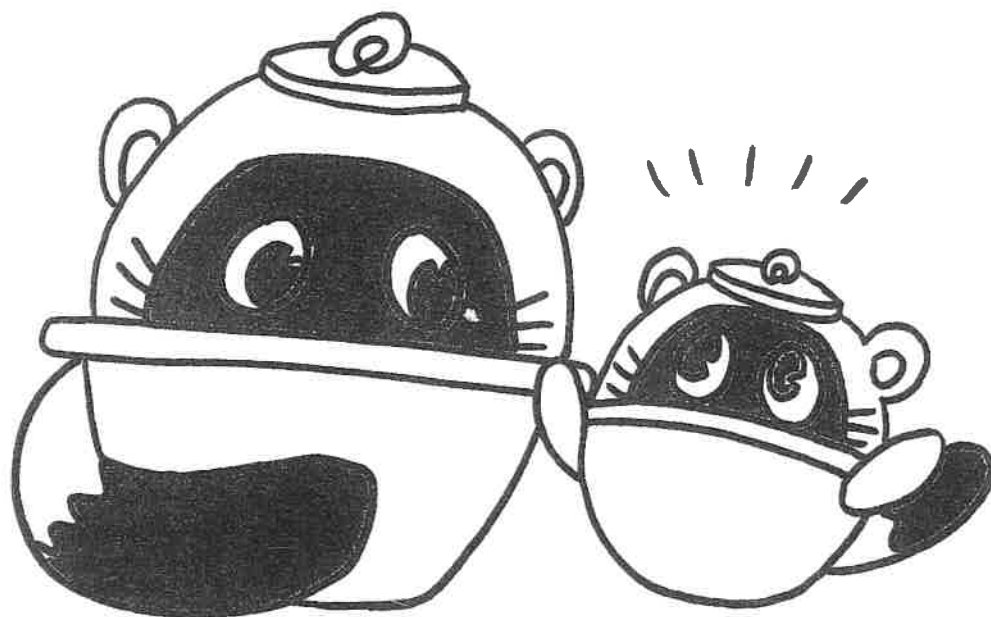
カンパ

青木麻衣子さま 大西貞夫さま 藤塚清美さま 田辺曜子さま
山本夕起子さま 澤則雄さま

物品提供

寺島咲希さま 能登泰子さま 上田孝子さま 下伏玲子さま 川淵さま
居石真理さま 末日聖徒イエスキリスト教会・金沢ステーキさま

一九九四年八月四日第三種郵便物承認
HSK 毎月一二回(一、三、五、八、一〇、一三、一五、一八、二〇、二三、二五、二八日)発行



発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 3 1 2

編集人：特定非営利活動法人 ^{ぶんぶく} 文福

〒930-0887 富山市五福 3734-3

e-mail: bunpuku@arrow.ocn.ne.jp

HP: <http://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 441-6106

定価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。